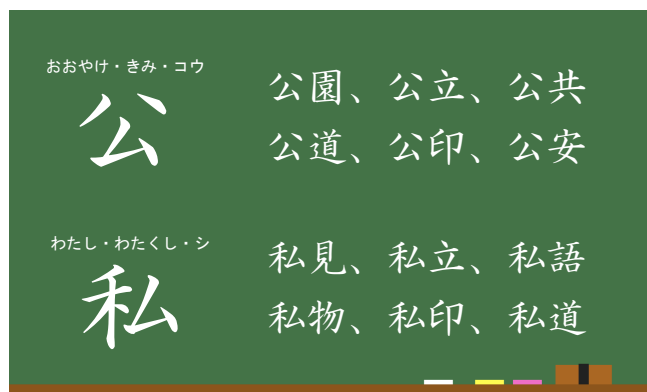


	<h1>進取の気概</h1> <p>(校長室だより)</p>	<p>有田市立箕島中学校</p> <p>自主 友愛 剛健</p>	R5..
			No. .



みなさん「公共」という言葉にどんなイメージを持っているでしょうか。「公共」とは社会一般という意味や公(おおやけ)という意味があります。公(おおやけ)とは「みんなの」という意味があります。だから、「公共」のものとは公(おおやけ)のものとして共有するもの(みんなが使うもの)ということになります。それに対して、お小遣いをためて買ったたりして個人で所有しているものを「私(わたくし)」のもの(私物)といいます。

みなさんに最も身近な「公共」のものは学校です。箕島中学校は有田市立ですので有田市に住んでいる人が支払っている税金をはじめ、国が市に対して出している補助金などの公(おおやけ)のお金で建てられています。みなさんが学校で使っている机や椅子、タブレット、教室のモニターや音楽室のピアノ、印刷機などにも税金が使われています。

みなさんが新しい校舎で生活を始めてから3ヶ月が経とうとしています。みなさん、新しい校舎を大切に使ってくれています。掃除などを一生懸命するみなさんの姿にその気持ちが現れています。学校がきれいだと学校で生活しているみんなが気持ちよく生活できま

す。みんなが気持ちよく生活できるということは、結果として、そこで一緒に生活している仲間を大切にしているということになります。みなさんに意識してほしいのは、ものを大切にすること、結局は人を大切にすることになるということです。そうじをしつかりとする、落ちていたゴミを拾う、トイレをきれいに使うということはそれを一緒に使っている仲間を大切にしているのと同じことです。机や椅子、タブレットを丁寧に扱うことも、みなさんが卒業した後もそれらを後輩たちが使うのですから、その人たちを大切にしていることになります。

公私の区別をつけて生活することが大切だ」と言われるように、普段の私たちの生活には「公」の部分と「私」の部分があります。また、普段私たちが使っているものにも「公」のものと「私」のものがあります。

学校以外にも市の図書館など公共の場はたくさんあります。学校に限らず公共の場では、みんなが気持ちよく使えるように、一人ひとりがルールやマナーを守り公共の場であることを意識して行動することが大切です。



3年生の教室、きれいに使っています